

令和 6 年度 施策評価表

施策	2301	地域コミュニティの活性化	施策担当部	市民環境部	部長	石山 光昭
			施策担当課	地域げんき課	課長	山田 充哉
施策の方針	地域コミュニティの活性化を図るための支援を行う。また、町内公民館の施設整備に対する支援を行う。					
関連するSDGsのゴール	 					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている人の割合	%	46.3	47.5 44.4	48.1 38.3	48.7 40.8	49.3	49.9	83.8%	81.8%
② 町内会加入率	%	76.8	76.8 73.3	76.8 71.5	76.8 72.8	76.8	76.8	94.8%	94.8%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

社会が他人との関係を望まない傾向となっており、地域住民同士のつながりの希薄化、町内会などの地域コミュニティの衰退などから、町内会加入率の低下にもつながっており、20代、30代は特に町内会加入率が低い状況である。
また、住民が地域活動に気軽に参加できる雰囲気・環境が整っていない状況も周囲とのつながりが希薄化している要因とも考えられる。
今後も、町内会活動の周知や相談業務などの支援、地域住民が安心して楽しく地域活動に参加できる支援が必要である。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	70,132	91,094	91,076	
	国庫支出金	4,682	6,631	6,478	
	県支出金	13,800	12,600	13,987	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,517	6,102	92	
	一般財源	49,133	65,761	70,519	
	人件費	30,778	32,946	—	
フルコスト	100,910	124,040	—		

施策の概要（細施策）

230101	地域コミュニティの活性化	<p>地域コミュニティの活性化を図るために、環境美化や防災・防犯、郷土芸能等、地域づくりに関する自発的な活動への支援を行います。</p> <p>また、生涯学習や地域活動の拠点である町内公民館の新築や増改築等、施設整備への助成を行います。</p> <p>さらに、市民が町内会活動などに安心して参加できるよう、保険加入の支援などを行います。</p>

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

現在の地域コミュニティ活動の担い手は、高齢者が中心となっており、若年層をいかに町内会などの地域コミュニティ組織に取り込むかが今後の課題である。
 また、高齢者の町内会脱会も増加しているため、高齢者が地域のなかで孤立しないような支援が必要となっている。
 今後も市民への町内会活動の周知や、町内会などのコミュニティ組織が活性化する取組に対する支援が必要である。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

地域コミュニティ活動を維持するために、住民主導型地域活性化事業など地域活性化につながる取組に対し、継続した支援を行う。
 また、地域コミュニティの活性化により、コミュニティ組織の土台である町内会への加入増加につながるよう、大村市町内会長会連合会などと連携して、町内会活動などの取組に対する更なる支援を行う。
 特に、市民活動支援事業においては、令和7年度予算で支援として、各町内会が現在管理している防犯灯の電気代補助を行うため、予算の増額を要求したい。

令和7年度新規事業

事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1 交流・Uターン推進事業	企画政策課 地方創生推進室	9,163	○市内の若者の定住や将来的な関係人口としての交流やUターンを促進する。 ○市民へのシビックプライドを醸成する。 (概要) 大村へつながるプロジェクトの実施、地域おこし協力隊員による交流活動、人と地域をつなぐマッチングイベントへの参加、(仮称)「おおむらコミュニティラボ」の開催、「おおむらの魅力発見ツアー」の開催など。
2			
3			
4			
5			